

今年度の取組目標及び成果と課題

1 「学習指導」

- (1) TOKYO スマート・スクール・プロジェクト推進校と観点別評価の研究 (2) 大学入試改革への対応としての英検指導 (3) 新学習指導要領の研究と校内研修の実施 (4) 理数教育推進校の実践

(成果)

D X推進校として、2年目の取りまとめを行った。主に一人1台端末の活用と観点別評価の研修・研究をおこない、1学期から1,2年全員にデジタル教科書を活用した授業を行った。

(課題)

全学年で所有する端末の授業等での活用拡大と進路部中心に探究授業研究を推進する。

D X委員会を中心に文科省及び都の事業推進の取り組みを全校体制で実施する。

2 「進路指導」

- (1) 補習・補講の実施 (2) 組織的、系統的な進路指導
(3) 探究活動を活かした大学入試改革への対応 (4) 高い目標への挑戦意欲の育成
(5) 保護者との情報の共有 (6) 体験的学習と進路講話

(成果)

○大学等進学実績の目標と成果 (目標数⇒今年度実績)

- ① (GMARCH) 現役合格者数 30名 ⇒14名 ② (成成明武) 現役合格者数 7名 ⇒11名
③ (日東駒専) 現役合格者数 65名 ⇒41名

④進路決定率 98% ⇒89%

⑤就職者数 (うち公務員) 6名 (5) ⇒8名 (6) ⑥ 難関私学現役 (早慶上理 3名 ⇒2名)

○授業外学習支援の目標と成果

①実用英語技能検定準2級以上合格者数 85名 ⇒122名

②長期休業中の補習・補講時間 延べ200時間 ⇒204.5時間

(課題)

基礎学力の確実な習得を図り、強気出願を醸成し、第1希望進路先の実現を目指す。

3 「生活指導」

- (1) ルールやマナー及び情報モラルを遵守する指導 (2) 身だしなみの指導
(3) 遅刻防止及び盗難防止指導 (4) いじめや自殺防止の対応

(成果)

○学校生活満足度の目標と成果 (目標数⇒今年度実績)

①生徒の満足度

「学習指導」70% ⇒75% 「入学して良かった (総合)」80% ⇒85.4%

②保護者の満足度

「学習指導」70% ⇒68.9% 「入学させて良かった (総合)」92% ⇒92.3%

(課題)

情報モラルの遵守、いじめ防止に対する理解が次年度の重点課題。学校生活の決まり (身だしなみ、遅刻防止) については次年度も継続的に学校全体での共通理解のもと取り組む。

4 「特別活動・部活動」

- (1) 特別活動の充実 (2) 部活動の充実 (3) 近隣関係学校との交流

(成果)

○近隣小・中・特別支援学校との交流及び部活動の目標と成果（目標数➡今年度実績）

①近隣小・中・特別支援学校との交流 全校：5回➡5回 生活指導部主催2回（新型コロナウイルスおよびインフルエンザ流行のため）

②部活動加入率 90%➡85%

都大会、コンクールでベスト8相当又は関東大会出場以上5部➡5部（文芸部・美術部・ダンス部・全国大会、ソフトボール部・陸上部・関東大会、等）

(課題)

部活動加入率・定着率を更に高めるため、生徒の部活動満足度を高める指導の工夫を行う。

5 「体力向上と健康づくり」

(1) 体力テストを活用した体力向上 (2) 健康・安全に留意した実践的な態度の育成

(3) 校内美化の徹底

(成果)

保健部を中心に感染症、熱中症対策を行い、生徒が学校生活を安心して過ごせる環境を整えた。とくに、生徒総合支援委員会を立ち上げ、組織的に生徒支援に繋がった。様々な取り組みにより授業や学校行事・部活動などを安心・安全に実施でき、生徒の健康増進や体力、学習意欲の向上につながった。

(課題)

感染症対策や生活習慣においては各生徒、各家庭の価値観や判断が大切となるため、学校生活において生徒自身が自分の健康について考えると共に他者への理解の幅を広げることが重要である。また、担任や部活動顧問など全教員での共通理解と連携が必要であり、生徒の心身の不安や悩み相談について保健室、SC、各担任等との情報共有、連携を図り生徒総合支援委員会を中心に組織的に進めることが今後も更に求められる。(保健、総務、生徒部、各学年) 新校舎へ移転し、校舎をきれいに保つように美化委員を中心にして活動した。汚れやすい壁や床など注意して使用するとともに、各行事の際に汚さない工夫が必要である。(生徒部)

6 「広報・募集活動」

(1) 新設学校ホームページと日野高ニュース、公式TwitterとSNSの活用

(2) 本校への志願者を増やす取組

(成果) ○広報・募集活動の目標と成果（昨年度実績➡今年度実績）

①入選中進対倍率 1.08倍➡1.77倍 ②入選推薦募集倍率 2.59倍➡4.33倍

③入選一次募集倍率 1.35倍➡1.65倍 ④ホームページ更新 109回➡183回

(課題)

入選中進対倍率の目標を当初1.10倍としたが、昨年をはるかに上回り、1.77倍に達した。学校説明会の内容を生徒中心の説明会に切り替え、部活動発表会等の生徒が活躍する様子を通して学校の魅力を発信できたことが良かった。次年度については、刷新したホームページを活用し発信をより一層、創意工夫し、本校の魅力を多くの小中学生やその保護者、中学校、塾などを含む地域の方々に理解してもらうよう全校上げて組織的に取り組む。(総務、教務部)

7 「地域連携」

(1) 地域と連携した研究活動や近隣清掃 (2) 地域行事や交流関係学校行事等への参加

(成果・課題) 新型コロナウイルス感染症の影響により、この3年ほど奉仕体験活動ができなかったが、今年度は日野市、近隣自治会、清掃組合等と連携し夏の体験活動を実施することができた。またこの体験活動を軸として探究活動も行った。(進路部・学年) 日野市との防災協定見直しを行った。地域総合防災訓練も行うことができた。中学校対象の出前授業を2校行った。(総務部) 多数の地域等ボランティア活動に参加した。(生徒部) 更に活動の範囲と場所を拡大していく。

8 「学校経営・組織体制」

- (1) 服務事故の防止
- (2) 業務縮減及び働き方改革に向けた取組
- (3) 特別支援教育の推進
- (4) 経営企画室、その他

(成果)

研修・服務届出の徹底や周知、定期券などの確認を行い、服務事故ゼロを継続できた。

(課題)

病休や在校時間が多くなりがちな教員の健康阻害の改善と産育休の体制確保が課題である。